

法人名	HITOWAキッズライフ株式会社
施設名	太陽の子 白根保育園

発表者名 (職名)	及川 義明 (園長)	住所	横浜市旭区白根2-3-18 パール白根ビル3F		
資料作成者 (職名)	雲 秀子 (栄養士)	TEL	045-958-0285	FAX	045-958-0286
資料作成者 (職名)	及川 義明 (園長)	メールアドレス	taiyo-shirane@hitowa-kids.life.com		
		URL	http://www.kidslife-nursery.com/		
		定員	60名	職員数	24名(産育休含む)

## 発表の概要・内容

## ★食育とは

幼児期は、生涯にわたる食習慣や食に対する考え方の基礎が身につく大切な時期。様々な食材に親しみながら食べる楽しさを知り、健康な心と体を育てます。HITOWAキッズライフ株式会社 太陽の子 白根保育園では、豊かな食の体験を積み重ね、五感で味わう食育活動をテーマに生きる力の源となる「食を育む力」を養っています。

## ★具体的な活動内容

①「世界の料理」②「郷土料理」③「絵本献立」を取り入れたバリエーション豊かな給食、④提携農園から届く珍しい野菜や、漁船で釣り上げられた初めて目にするような魚など本物に触れる体験、⑤サバイバルクッキングなどを実施。

また、地域とのつながりとして、ケアプラザでの離乳食講座や、園長・保育士による絵本の読み聞かせ、絵本に出てくる食事を再現した絵本献立の紹介と試食を行っている。

## ★世界の料理

「世界の料理」の献立は、当社オリジナルこども英語プログラム「ふぁんばりん」の英語講師によるレッスンと連動して、「食で世界を回る」をテーマに展開中。毎月異なる国をピックアップして、言葉や文化を学び、味わい、子どもたちに身近な食から世界を広げる。

## ★絵本献立

絵本日本一プロジェクトを掲げ、「絵本献立」に取り組んでいる。

季節に合わせた絵本を選び、お話の中に出てくる食材や料理、お菓子や世界観などを表現した給食を提供したり、クッキング活動を行っている。絵本の読み聞かせや、絵本の世界をもとにした保育展開をクラス担任が考え、食育活動と連動している。

## ★サバイバルクッキング

9月の防災の日に実施する避難訓練に合わせ、その後ライフラインが止まった想定でクッキング活動をおこなう園独自の取組。最初に園長から東日本大震災での体験談を聞き、備蓄されている備蓄品と防災食を子ども達が実際に見て触れる体験をして「見える化」することで、防災に対する意識が高まるよう取り組んでいる。

また、実際にライフラインが止まった際に備蓄品を食べるにはどうしたら良いのかを年長児である5歳児と考える。備蓄水や備蓄米、耐熱のポリ袋やカセットコンロなど災害用品を使用し、汁物やカレーなど食材があるもので、耐熱袋での調理を行った。

## ★珍しい魚に触れる

栄養士の兄が釣り船漁船の船長を営んでおり、タリイカ(巨大イカ)や太刀魚を送ってもらった。子どもたちが実際に触れ、解体ショーを実施。衛生管理上、食べることはできないため、手触りや魚の生態などを栄養士主導で知ることができた。

## ★省察と今後の課題

子どもたちの食に対する興味や関心が、食育活動を行う前と後で変化が見られた。給食に含まれる食材をひとつずつ確かめて食べる姿や、苦手なものでも挑戦する意欲。作り手に対する感謝の気持ちを伝える姿が見られるようになり、心の成長を感じられた。

また、今後の課題として、食育を保育園だけで終わらせるのではなく、家庭で取り組めるよう情報の共有と発信をよりしていくことが大切と考えている。世界の料理や郷土料理などから、食文化の違いや世界の食料事情などSDGsの視点からも伝え、将来の食環境を踏まえた食の安全、安心を伝えていきたい。

## メモ